

# 木瓦の風景

— Cross Laminated Timber Roofing Tile —



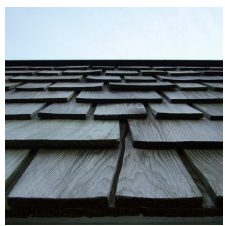
私達が見慣れた街並に伝統的技法を再構築した新たな風景を提案します。

日本には古来より「板葺き」という伝統的な手法を用いて屋根を葺いていました。

その他にも「柿葺き」・「檜皮葺き」、材の種類や厚みは違いますが、左右をずらしながら重ねていく手法は CLT の様相に近いものがあります。

日本の伝統的技法を現代技術で再構築することで、木質資源の新たな可能性を切り開いてくれます。

## □伝統工法による屋根葺き



「板葺き」



「柿葺き」



「檜皮葺き」

## □木瓦が作り出す街並み



CLT の特徴である材の大きさを自由に設定できる事、層を互い違いに重ねることでその強度を得るという事を活かし、木製の瓦を提案します。また、層の厚みを検討することで、耐火性能をクリアできるような仕様も今後可能性としてあります。さらに「呼吸する屋根材」として、環境にも配慮した新たな屋根材として期待できるでしょう。